



日独同時交流(派遣)参加者の募集が始まりました!



< 日独スポーツ少年団同時交流とは? >

国際経験豊かな指導者を育成するため、日独両国のスポーツ少年団員 125 名(指導者含む)が互いに相手国を訪問し、地域ごとのグループに分かれて各地でホームステイをすると共に、スポーツ交流や視察研修等のプログラムを約 3 週間に渡り実施する交流事業です。

詳細はこちら <http://www.japan-sports.or.jp/international/germany.html>

< 派遣対象は? >

[団 員]

シニア・リーダー認定者(含む平成 21 年度認定見込者)もしくは所定の活動単位取得者で、かつ平成 22 年 4 月 1 日時点で 15 歳以上 22 歳未満の平成 21・22 年度登録者です。

(注: この基準とは別に所属道府県内で独自の基準を設けている場合があります)

[指導者]

認定育成員または認定員で、道府県スポーツ少年団本部長が推薦する平成 22 年度登録指導者です。

(注: この基準とは別に所属道府県内で独自の基準を設けている場合があります)

< 申込方法は? >

各道府県スポーツ少年団を通じて日本スポーツ少年団に申し込みます。

募集要項・申込書類の入手先および提出先・提出期限等の詳細については、所属の道府県スポーツ少年団へお問い合わせください。

<http://www.japan-sports.or.jp/club/search.html>

< 申込から派遣までのスケジュールは? >

2010 年

- ~ 3 月上旬 : 各道府県より日本スポーツ少年団へ派遣候補者の推薦
- 3 月下旬~ : 第 1 次選考(書類審査)合格者への派遣内定通知
- 5 月 2 日~ 4 日 : 事前研修会(東京都:代々木)
- 5 月中旬 : 第 2 次選考(集合研修)合格者への派遣決定通知
- 5 月下旬~ : グループ別事前研修会
- 7 月 19 日 : 結団式
- 7 月 20 日 : ドイツ連邦共和国へ派遣

~ 8 月 11 日 (注: 現時点での予定です)

< その他 >

百聞は一見にしかず! ということで、現地でのどのようなプログラムが行われるか等については、派遣経験のある団員や指導者に実際の様子を聞いてみたり、各道府県スポーツ少年団で報告書を閲覧してみたりして下さい。次ページにこれまでの参加者の声を掲載しています。

その他、不明な点があれば日本スポーツ少年団事務局(03-3481-2222)までお問い合わせください。





日独同時交流に参加された方々の声をご紹介します！



団員・指導者の声

- ・ ホストファミリーやドイツの人々の優しい気持ちに触れ、スポーツを通しての国際交流というものを実感できました。言葉は通じなくてもボディランゲージを使い表現を工夫してたくさんの人と交流ができて、とてもうれしく、これからの人生の支えになると思います。
- ・ 私達の班は結構問題もあって、いろいろ考えたりした。でもよく考えてみると、私は日本で苦手な人がいたら避けて生きてきて、でもドイツに来たら苦手だからといってその人から逃げることもできなくて…。ドイツに来て「人に思いやりをもって接すること」の大切さを再確認しました。
- ・ チャンスが巡ってきて参加できたこの交流で、自分自身を変えることができたと思います。“話す”ということに対して恥ずかしさを覚えていたのに、気付けば“伝えよう”と頑張っていて、国内だけでなく国外にも友達のを広げることができ、一生大切にしたい友達ができ嬉しく思いました。
- ・ 初めての海外ということで少し大変な所もあったけど、片言のドイツ語や英語でもコミュニケーションできることやジェスチャーで仲良くなれることが分かりました。
また、団体での行動の難しさや班をまとめる大変さも身にしみて分かり、良い経験ができたと思います。
- ・ 毎日がすごく楽しくて、1日1日がすごく早く感じられました。異文化の違い、共同生活、協調性などたくさんの事を学び、今までに知らなかった事を肌で実感できました。「言葉に壁はない」って実感しました。さよならは寂しいけど、さよならがあるから新しい出会いがあると思いました。



絶対に忘れられない夏がそこにある！集えスポーツ少年団員！